

歌仙をかぐ

—歌・神・人の物語—

展示替が
あります
↓

番号	作者名	作品名	員数	形式	制作年代	法量	
1-1	作者名	北野天神縁起絵巻断簡	一幅	紙本着色	鎌倉・南北朝時代	三二・四×四七・二	
1-2	作者名	北野天神縁起絵巻断簡 詞書	一枚	紙本墨書	鎌倉時代	三三・〇×三三・三	
2		天神の本地	一卷	紙本着色	室町時代	二一・六×一一・二八・二	
3		天神像	一幅	絹本着色	室町時代	一〇・三・二×四八・〇	
4		渡唐天神像	一幅	紙本着色	桃山時代	一一・六×六×四七・九	
5		渡唐天神像	額一面	紙本墨画	桃山時代 十六世紀末・十七世紀初頭	八六・六×二六・五 七四・三×二八・二	
6		千歳園藤彦著 渡辺対岳画 『厳島絵馬鑑』 卷二、三、卷四	全五冊のうち 三冊	紙本木版	江戸時代	各二五・九×一八・〇	
7		後陽成天皇 閑院宮典仁親王	一幅	紙本墨画	江戸時代	四八・五×三〇・四	
8		住吉大社図(播磨国総社・ 住吉大社図屏風のうち)	六曲二双のうち 一隻	紙本金地着色	江戸時代	一〇・八・三×二六・二・六	
9		和歌浦図 (和歌浦・厳島図屏風のうち)	六曲二双のうち 一隻	紙本金地着色	江戸時代	一五六・〇×三五六・〇	
10	第二章 華麗なる歌仙の饗宴	岩佐派	三十六歌仙 中納言家持	一幅	紙本着色	江戸時代	二九・六×二四・三
11		土佐光起	三十六歌仙画帖	二帖	絵 絹本着色 詞 紙本墨書	江戸時代	各二九・〇×一七・五 各二〇・五×一七・四
12		伝狩野周信	新歌仙手鑑	一帖	絵 紙本着色 詞 紙本墨書	江戸時代	各二九・一×一七・一 各二四・四×二四・〇
13		狩野派	三十六歌仙図	三十六枚	紙本着色	江戸時代	各四八・五×三三・七 三七・九
14		伝狩野諸家	三十六歌仙手鑑	一帖	絵 紙本着色 詞 紙本墨書	江戸時代	各二七・三×一五・二 各二〇・九×一五・〇
15		狩野常真	百人一首手鑑	一帖	絹本着色	江戸時代	各三八・〇×二三・二
16	第二章 歌仙の恋と生涯―業平と小町	9/27(日)まで	伊勢物語画帖 第二帖	二帖のうち一帖	紙本着色	江戸時代	各二六・〇×三三・三
17		9/29(火)から	伊勢物語絵巻 卷二	四巻のうち一卷	紙本着色	江戸時代	二四・〇×一〇六・八・四
18		『伊勢物語』	二冊	紙本木版	江戸時代	二六・一×一六・三	
19		見立筒井筒	一枚	中判錦絵	江戸時代	明和三、五年 (一七六六、六八)頃	
20		見立草紙洗小町	一枚	中判錦絵	江戸時代	明和三、五年 (一七六六、六八)頃	
21		『御伽草子』のうち 『小町草紙』	三十八冊のうち 二冊	紙本木版	江戸時代	十七世紀	
22		『父の恩坤』	二冊のうち一冊	紙本木版	江戸時代	享保十五年(一七三〇)刊	
23	第三章 浮世絵で楽しむ歌仙―教養とパロディと	勝川春章	『百人一首あづま織』	一冊	紙本木版	江戸時代	安永四年(一七七五)刊
24		尾崎雅嘉著 大石真虎画	『百人一首一夕話』 卷四	九冊のうち一冊	紙本木版	江戸時代	天明九年(一七八九)刊
25		黒沢翁満著 橋齋清福画	『源氏百人一首』	一冊	紙本木版	江戸時代	天保十年(一八三三)刊
26		鈴木春信	三十六歌仙	一枚	中判錦絵	江戸時代	明和四、五年 (一七六七、六八)頃
27		鈴木春信	風流四季歌仙 二月水辺梅	一枚	中判錦絵	江戸時代	明和五、六年 (一七六八、六九)頃
28		鈴木春信	風俗四季歌仙 卯月雲外郭公	一枚	中判錦絵	江戸時代	明和五、六年 (一七六八、六九)頃
29		歌川広重 三代歌川豊国 (歌川国貞)合作	当盛六花撰 紫陽花	一枚	大判錦絵	江戸時代	嘉永七年(一八五四)
30		歌川広重 三代歌川豊国 (歌川国貞)合作	当盛六花撰 芙蓉	一枚	大判錦絵	江戸時代	嘉永七年(一八五四)
31		歌川広重 三代歌川豊国 (歌川国貞)合作	当盛六花撰 秋海棠	一枚	大判錦絵	江戸時代	嘉永七年(一八五四)
32		歌川広重 三代歌川豊国 (歌川国貞)合作	当盛十花撰 菖蒲	一枚	大判錦絵	江戸時代	安政五年(一八五八)
33		三代歌川豊国(歌川国貞)	当盛見立三十六花撰	三十六枚	大判錦絵	江戸時代	文久元年、三年 (一八六一、六三)
34		三代歌川豊国(歌川国貞)	見立三十六歌撰之内	三十六枚	大判錦絵	江戸時代	嘉永五年(一八五二)